



海外巡回健康相談ーベトナム、ハノイ (2017/1/7-11)

1) ハノイの巡回健康相談を実施(1/9-10)

2016年度の第7回海外巡回健康相談はベトナムの首都、ハノイ。ベトナムは面積33万平方キロで日本の約9割。一人当たりのGDPは2,171ドルで日本の15分の1。人口約9,340万人。日越関係は良好で、日本はベトナムにとって最大の援助国。対日貿易額は285億ドル(2.3億ドル入超)約1,570の日本企業が進出しており、約13,500人の在留邦人が登録されている。(外務省ホームページより) JOMFは昨年に引き続き、ハノイ西部にあるハノイ日本人学校で歯科健診を実施。また、今年はハノイにある4つの日本人幼稚園でも初めて歯科健診を実施した。



ベトナム医療巡回実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ハノイ (1/9, 10)	ハノイ日本人学校 (1/9)	歯科健診 (小学1~6、中学1~3)	田中先生、吉津先生	361名
	桜モンテッソーリ子供の家 (1/9)	歯科健診	吉津先生	75名
	さくらHoaAnhDao幼稚園 (1/10)	歯科健診	吉津先生	63名
	なかよし幼稚園 (1/10)	歯科健診	田中先生	28名
	ひまわり幼稚園 (1/10)	歯科健診	田中先生、吉津先生	32名

参加者合計 559名

2) 歯科健診: ハノイ日本人学校 (1/9)、桜モンテッソーリ子供の家(1/9)、さくらHoaAnhDao幼稚園(1/10)、なかよし幼稚園(1/10)、ひまわり幼稚園(1/10)

- ハノイ日本人学校(校長 木本吉則先生)は在校生は379名。歯科健診の受入れを担当くださったのは、教頭の青柳文男先生と養護担当の倉持絵里先生。
- 今回の歯科健診を担当したのは、JOMFの医療巡回の生みの親的存在でもある北京天衛診療所 医療顧問、西埼玉中央病院勤務の田中健一先生と東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科の歯科衛生士 吉津智慧先生。
- 今回初めて健診を実施した4つの日本人幼稚園は、田中先生と吉津先生が分担して巡回。桜モンテッソーリ子供の家(園長 久保遊野先生)とさくらHoa Anh Dao幼稚園(園長 塩川 桜先生)は吉津先生、なかよし幼稚園(園長 大庭公治先生)は田中先生、ひまわり幼稚園(園長 蕭孔明先生)は田中先生と吉津先生で担当。

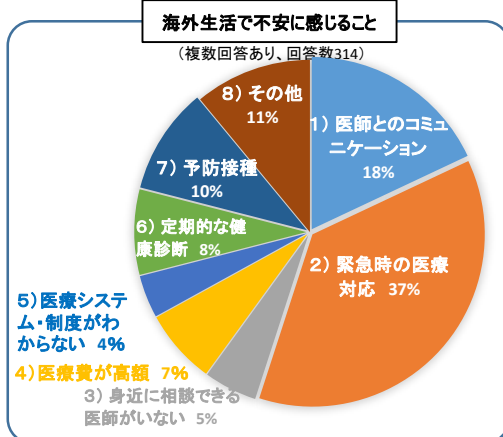


田中先生 吉津先生 ハノイ日本人学校 左より:木本先生、吉津先生、田中先生、倉持先生、青柳先生 桜モンテッソーリ子供の家 久保園長先生と吉津先生
さくらHoaAnhDao幼稚園 なかよし幼稚園 ひまわり幼稚園 蕭園長先生 田中先生

3) ハノイ医療事情

健診を受けた園児の保護者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。ヤンゴンにおいて医療に不安を持つ人は88%。不安要因は;

- ①緊急時の医療対応 (37%)
- ②医師とのコミュニケーション(18%)
- ③予防接種(10%)



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、海外巡回健康相談を行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業界をサポートする講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容ー海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyoku/spacial.htm>

今年度は、各巡回先における上記アンケートのほかに、東京医科歯科大学歯学部と協力し、「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査」を実施しています。